

市議会議員 1期目

平成 31 年 4 月 市議会議員初当選 トップ当選

会派 新和会

教育厚生常任委員会委員

公共施設対策特別委員会副委員長

細川としゆき 市政報告 Vol.2



令和2年4月2日発行

市の方針と細川の議会質問に関連して、この1年で方針転換された内容

- 元々の市の方針
- 転換された市の方針
- 市民センターの統廃合を行うという方針について
- 防災拠点として重要な役割がある市民センターは当分の間、現在の状況を維持
- 公民館を社会教育法に抵触しない施設としてコミュニティセンター化し、生涯学習専門員を廃止し、地域で必要な人材を雇用することについて
- コミセン条例が成立し、5年間で公民館のコミセン化を図っていくが、従来通り、社会教育法による公民館として生涯学習専門員を配置するという地域の主体性も認める
- 公立保育園を民営化方針により、学区内に2つの保育園がある天神山保育園、逢坂保育園と耐震化工事に伴い唐崎保育園、和邇保育園、比良保育園を民営化することについて
- 公立保育園の民営化方針について白紙に戻す
- ※天神山保育園については9月議会で存続する請願書が全会一致で可決
- 各学校のトイレの改修は大規模改修時に行う
- トイレ改修を単独事業として改修する
- 都市計画道路 3.4.46 号 比叡辻日吉線拡幅工事は歩道のないエリアを優先してすすめる
- 歩道のないエリアを優先する方針を撤回し、2月補正で1億5千万を計上し、工事期間を5年間延長し、令和5年で事業を完工する。
- 31の市立小中学校、幼稚園の用務員業務を民間に業務委託する
- 令和2年度は民間への業務委託を拡大せず、従来の退職者不補充の補完措置にとどめ、方針を転換。令和3年度以降は学校現場の意見を聞きながら検討する
- 民間保育園への障がい児保育にかかる補助金の額は長い間据え置いたままであった
- 障がい児保育にかかる補助金を拡充する
- 教育委員会委員に大津市の教育現場で頑張った教職員が一人もない
- 大津市の教育現場の教職員のOBから教育長や委員が選出された



一般質問要旨

児童虐待の対応等について

千葉県野田市の父親による、当時、小学校4年生の児童虐待死事件からほぼ1年が経つ。児童虐待の相談件数は全国的に見ても、右肩上がりで、県内の状況や市内の状況も同様であり、対応する児童に関する関係機関の緊密な連絡・連携体制の強化が強く望まれる。

学校の教員は、子どもをよく観察し、子どもの行動から、なんらかの異変を感じたとき、まず、いじめ被害や虐待被害にあっていないのではないかとの疑いを常に持って、状況把握に努めることが大切であり、そのことが、早期発見、早期対応につながるものと考える。滋賀県では平成15年度より、全国で最も早く、児童虐待対応教員を学校における校務分掌上に位置付けた。学校内での連携や関係機関との連携など、その役割は重要であることから、子どもの観察や家庭状況の把握の必要性など、不断に研修を積み上げる必要がある。県教育委員会の研修を含め、どのような研修が行われているか。研修の状況と課題について伺う。

大津市の子ども家庭相談室の体制強化と相談員の待遇改善について

市の子ども家庭相談室の相談件数の増加により、相談員が担当するケースの件数は、県内の平均である一人49人のほぼ倍に近い90人を担当している現状と聞いている。このような状況を受け相談員の人員不足は大きな課題となっている。今般令和2年度の骨格予算においては、相談員の増員が図られたことは、大きな前進であると考えている。改めて児童虐待への市長の見識ある判断を評価する。しかしながら、相談員のスキルのひとつである資格保有状況を見ると、正規職員は社会福祉主事のみで、他の資格はすべて非正規職員である嘱託職員に頼っている状態であり、全職員18名に占める非規職員の割合は約7割程度となっている。

また、本市の子ども家庭相談室の嘱託職員が他の自治体の福祉職の正規職員として採用されたケースもあると聞き及んでいる。相談員は児童虐待の防止のために親子に寄り添い、子どもの健全な発育を促し、未来を担う人材を育てるという重要な責任を負っている。さらには、子どもの命に直結する場面に立ち会うことや場合によっては親からの攻撃を受け、精神的ダメージをうけるリスクを背負うこともあるなど、より高い専門性と精神力が求められることから、人材の確保もまた大きな課題となっている。そのようなことから、相談員の賃金や手当などの待遇改善は必要不可欠であると考える。そこで、子ども家庭相談室の体制強化のため、正規職員の配置を含め、相談員の待遇の改善について、今後どのように考えるのか伺う。

令和2年度以降の小中学校・幼稚園における用務員の民間業務委託の方向について

令和2年度の小中学校・幼稚園の用務員については民間への業務委託を拡大せず、従来の退職者不補充の補完措置にとどめることとなり、31人の雇用止めの方針を一転させたことについて、大いに評価をす

るものであり、市長の決断を歓迎する。さて、令和2年度以降の用務員の民間業務委託については、次年度方針と同様であるのかどうかも含め、具体的にどのようにされるつもりか、伺う。

また、そもそも、小中学校・幼稚園における用務員は小中学校や幼稚園の環境整備の業務等を担っており、それ以外にも子どもとのかかわりや教職員とのかかわり、保護者や地域の方とのかかわりをもって業務を行っている。そのことから、校長や教職員が直接に用務員に指示や依頼をし、共同して動くことも当然のこと。こうしたことは、民間への業務委託の場合、偽装委託の疑惑が生じるリスクを背負うことになり、チーム学校の一員として用務員を位置づけるというのであれば、学校の実態に応じた働き方が望まれる。このことから、用務員の民間への業務委託は、学校現場ではなじまないのではないかと考える。県内には民間への業務委託をやめ、直接雇用に変えたという自治体もある。

従来からの民間への業務委託の方向を否定するものではないが、今後、学校現場の声をしっかりと聴いていただき、チーム学校の一員としての用務員の雇用のあり方について再検討をするべきだと考えるが、考えを伺う。



都市計画道路 3.4.46 号比叡辻日吉線拡幅工事実施に伴う 令和 2 年度の予算確保について

昨年度末までに55軒中18軒が完了し、事業進捗率は 32.2%。しかしながら、今年度の事業予算は事業を積極的に推進しようとする意欲をまったく感じさせない少額の予算と留まり、遅々として進まない状況である。

本事業に全面的に協力をしてきた地元住民との信頼関係を崩すことがあつてはならない。令和元年9月通常議会での同様の質問に対して、予算獲得について努力するとの答弁であったが、令和2年度に向けて、どのような状況となっているのか伺うとともに、今後のスケジュールについて伺う。

また、これまで、この事業では、歩道のないエリアを優先するとの方針でしたが、そもそも都市計画道路の整備は、認可区域の中で、条件が整ったところから速やかに実施していくべきである。今後は歩道のないエリアを優先にしつつも、事業進捗のため柔軟に対応すべきと考えるが、見解を伺う。

大津市におけるICT整備の現状とこれからの対応について

文部科学省ではGIGAスクール構想において、令和 5 年度までに児童生徒一人1台のコンピューター配備の実現や令和 2 年度までに高速大容量の通信ネットワークの整備を進めるとしている。滋賀県においては県立高校に ICT 環境整備に10億円を計上し、県立中学校においても、一人1台のタブレット端末配備等に 2 億円を計上している。

さて、大津市においても ICT 整備及びタブレット端末の配備は喫緊の課題となり、計画性をもって早急に取り組んでいく必要がある。

大津市における現状と今後の対応について、どのようなスケジュールで進めようと考えているのか伺う。



大津市の教育委員会委員の構成について

教育委員会委員は、できうることなら大津市に在住し、地域活動についても様々な活動を通して学校と地域の関係性について知り、大津の子どものことについて、様々な立場から助言ができる人が好ましいと考える。そうした意味で従前は、子どもの健康・保健面について、医師の立場から助言ができるよう、内科医及び小児科医から、家庭教育や学校教育について、多くの保護者の意見を聞き、教育行政に反映できるように、市PTA連合会等のOBから、社会が求める人間像から学校で子どもたちにつけるべき力は何かについて企業人の立場から助言できるように、企業関係者から、何よりも、学校教育内容や学校運営について、教職経験者としての立場から助言できるように、大津市の学校現場の校長等教職員のOBから、教育委員会委員が構成されていたと認識している。しかし、最近はそのような観点での人選が見られず、誠に残念に思っている。現在の子どもの課題や教職員、学校のあり方について、多方面から意見が交わされ、将来の大津市の育てたい子どもの未来像や教職員の働く意欲を高め、夢あふれる学校づくりについて、提言ができる教育委員会であることを強く望むものである。教育委員会委員の構成について、市長の見解を伺う。

2020-4 市政を語り合う座談会 ご案内

市民の皆様から、もっと意見を聞いてほしい、もっと市政の状況を知りたいとのご要望があり、これまでの市政転換に対するご意見やこれからの大津の方向性や課題について語り合う座談会を下記の日程で開催させていただく事になりました。

大津市政の現状をお知らせするとともに、市政へのご意見を沢山お聞かせください。思ひは不要で、会場にござい。

お誘い合いで、中止願い致します。

●唐崎市民センター	4月15日(水) 19時～20時
●仰木市民センター	4月16日(木) 19時～20時
●仰木の里市民センター	4月17日(金) 19時～20時
●坂本市民センター	4月20日(月) 19時～20時
●日吉台市民センター	4月21日(火) 19時～20時
●雄琴市民センター	4月23日(木) 19時～20時

細川としゆき後援会にご入会のお願い

細川としゆきの政治活動にご意見を頂くと共に、ご支援を頂くための後援会です、是非とも細川としゆき後援会へのご入会をお願いします。

インターネットでもご入会申し込みしていただけます。

QRコードを読み取ってアクセスするか下記のURLからご入会よろしくお願いします。

<https://hosokawa-toshiyuki.com/kouenmai.php>

